

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 倉敷市水道局		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 710 -8565 倉敷市西中新田 6 4 0	
本票作成	部署名：浄水課				
主たる業種	分類コード	36	業種名：水道業		
事業の概要	水道業 職員： 123人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	片島浄水場		倉敷市片島町 1 0 0 0	
	②	上成浄水場		倉敷市玉島上成 1 1 6 6	
	③	船穂取水場		倉敷市船穂町水江 1 4 2 4 - 4	
	④	福井浄水場		倉敷市福井 2 8 7	
	⑤	真備浄水場		総社市下原下高畑 1 2 1 0 - 3	
⑥	勇崎加圧ポンプ場		倉敷市玉島柏島字金頭 6 2 4 4 - 4		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 189 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 6.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	9,183 t CO ₂			8,632 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	片島浄水場		2,341 t CO ₂					
	②	上成浄水場		1,590 t CO ₂					
	③	船穂取水場		981 t CO ₂					
	④	福井浄水場		920 t CO ₂					
	⑤	真備浄水場		701 t CO ₂					
⑥	勇崎加圧ポンプ場		233 t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 給水量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		0.1497 kg CO ₂ / (m ³)	0.1407 kg CO ₂ / (m ³)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

前回の目標を引き継ぎ、6.0%の削減を目標とした。

【目標削減率達成のための推進体制】

・倉敷市市長部局及び教育委員会と水道局で組織する「省エネ・温暖化対策推進委員会」を中心として、様々な省エネ推進の取組を積極的に行う。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
全施設 〃 〃 片島浄水場 〃 上成浄水場	<ul style="list-style-type: none"> ・管理標準の運用の徹底 ・倉敷市環境マネジメントシステムの運用により、節電の徹底を行っている。 ・井水ポンプの更新(容量の適正化)平成23年(CO2削減量17t/年) ・太陽光発電設備導入 平成23年(CO2削減量12t/年) ・送水ポンプの更新(容量の適正化)平成26年(CO2削減量50t/年)

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
四十瀬取水場・水江取水場 船穂取水場 勇崎加圧ポンプ場	<ul style="list-style-type: none"> ・取水ポンプの更新(容量の適正化) ・受変電設備の更新(高効率変圧器の採用、変圧器容量の適正化) ・送水ポンプの更新(容量の適正化)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・冷暖房設備の使用電力低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる
- ・職員研修において、アイドリングストップなどのエコドライブの啓発を実施している
- ・本計画書の計画期間について、当初提出した1箇年度から5箇年度に修正して再提出した